

(26) 藻類養殖指導

予算

運営費交付金

結果の概要

漁場の表層塩分（表1）は、2、3月の谷川以外は32を越えることが無く、やや低めとなった。リン（DIP）は1月以降ほぼ全地区でノリ色落ち警戒濃度（ $0.5\mu\text{mol/l}$ ）を下回った（表2）。窒素（DIN）は12月にノリ色落ち警戒濃度を下回る漁場がみられ、1月以降には殆どの漁場でノリ色落ち警戒濃度（ $10\mu\text{mol/l}$ ）を下回る濃度となり、1月に一部でワカメ警戒濃度（ $2\mu\text{mol/l}$ ）をも下回った（表3）。

育苗は10月下旬～11月中旬に行われた。芽付きの濃い網に芽イタミがみられたが、生理障害の発生状況は平年並みであった。ノリ網の冷凍入庫は11月中旬に行われた。11月下旬から本張り養殖が開始され、一部で芽イタミによる葉体流失が発生した。摘採開始は12月中旬からとなった。色落ちは1月中・下旬と3月中旬に発生した。西鳥取では1経営体が2月下旬に、もう1経営体が3月下旬に終漁、尾崎では3月中旬の終漁となった。養殖規模は前年度と同等であったが、生産枚数はやや減少した（表4）。

調査方法

1. 調査点

泉南市岡田浦、樽井、阪南市尾崎、西鳥取、下荘、岬町谷川の6点

2. 調査期間と実施日

2013年11月から2014年3月

巡回指導実施日：11月5日、12月3日、
1月21日、2月12日、3月18日

3. 調査項目

各養殖漁場で採取した表層海水の塩分、溶存態無機リン（DIP）、溶存態無機窒素（DIN）の測定
ノリの養殖概況の把握

調査結果

表1～4のとおり。

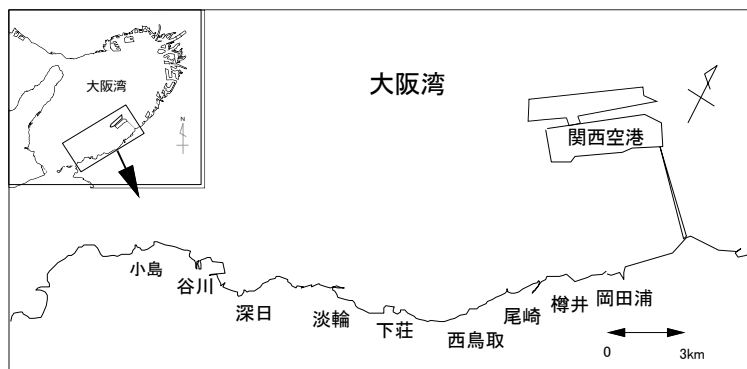


図1 調査点

担当者

佐野雅基

表1 漁場の表層塩分

月	(psu)					
	岡田浦	樽井	尾崎	西鳥取	下荘	谷川
11	31.05	31.38	30.96	31.53	31.27	31.59
12	30.70	30.55	30.86	30.90	30.96	31.76
1	31.25	31.37	31.00	31.09	31.54	31.97
2	31.47	31.65	29.46	31.82	30.57	32.07
3	31.35	29.85	31.52	31.77	30.78	32.64

表2 漁場のDIP

月	(μ mol/l)					
	岡田浦	樽井	尾崎	西鳥取	下荘	谷川
11	1.35	0.93	1.02	0.99	1.26	1.16
12	0.94	0.81	0.74	0.72	0.72	0.61
1	0.15	0.02	0.20	0.17	0.02	0.14
2	0.24	0.11	0.53	0.09	0.49	0.26
3	0.27	0.16	0.24	0.19	0.10	0.28

表3 漁場のDIN

月	(μ mol/l)					
	岡田浦	樽井	尾崎	西鳥取	下荘	谷川
11	17.95	12.60	16.69	13.05	17.64	16.74
12	16.34	16.02	12.61	12.51	11.48	8.09
1	2.22	0.38	6.43	2.37	0.36	1.40
2	5.16	2.78	16.24	3.76	3.86	3.53
3	3.53	6.78	2.93	2.51	3.75	3.26

表4 ノリ生産概況の経年変化

年度(平成)	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	前年比(H25/H24)
経営体数	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	1.00
養殖施設数(千槽)	1.28	1.24	1.20	1.00	0.84	0.84	0.76	0.76	0.73	0.73	1.00
持網数(千枚)	1.51	1.52	1.62	0.98	1.04	1.05	1.02	0.90	0.86	0.86	1.00
生産枚数(千枚)	286	527	211	164	47	302	296	292	360	343	0.95
共販枚数(万枚)	192	378	151	117	0	25	—	—	—	—	—
平均単価(円/枚)	7.72	5.41	6.63	5.44	—	6.56	—	—	—	—	—